

佐呂間町弘報

発行所 船木長一郎
編集 船木長一郎
印刷 船木長一郎
発行 船木長一郎
発行所 船木長一郎
編集 船木長一郎
印刷 船木長一郎
発行 船木長一郎

新玉を迎えて

町長 船木長一郎



年改り昭和三十三年の新春を迎え心からお喜び申し上げます。新春を迎えるに当り皆様には夫々のお立場から種々本年の計画をたてるものと存じますが町と致しましても同様町の行政の方針財政計画等について検討を加えまして特に本町は合併してから若干年の歳月を経過し町政にも困難な諸問題が山積しておりますが町民各位の理解と協力により漸次解決しつゝありまして御支援に對して衷心からお礼申し上げます。

で御座居まして本町も昨年十一月議会の意見を求め昭和三十六年までの計画を別紙の通り策定し一応の町是の目標を定めましたのでこの確保について最善の努力を盡したいと思ひます。然しこの計画は町の固有行政の内諸施設が中心であり町内産業の総合振興対策については目下具体的に検討中であります。特に主産業の農業については経営安定を営まれる方々は特に経営全体について深い反省をなしてしより一層科学的思考と判断で合理的な経営に充分配

合併町村は法に對し寒冷地農業振興村挙げて要望中であり更に町独自の飛躍的な財政投資による積極的な推進策も考へておりますが、この面及北海道の解決は農家各位の一層の自意と道、町及関係団体の施策が一致強化されて実現されるものであります。皆さんと共に望むところは教育、土木交通、文化施設社会福祉等を中心とした施設の充実強化について多くの希望をもっておりますが之等の実現は結局的に産業振興によつて町民所得の水準が高くなり生活が安定致しませんと円滑な進め方は困難でありますので農業、漁業等を始め其の他の事業を営まれる方々は特に経営全体について深い反省をなしてしより一層科学的思考と判断で合理的な経営に充分配

昭和三十二年主要事項報告

町長 船木長一郎

應されますよう切に要望して止みません。どうぞ本年も健康で恵まれ御挨拶と致します。

昨年は春以来連年の農業災害や凶漁による被害を克服して見ごとな出来秋を迎えたいと念願しておりましたが五月の水害にひき続き八月以降の天候不順による被害により農家各位の蒙つた被害は相当な額に達し誠に遺憾に存じ心から御同情申し上げます。町行政も之等被害の対策に重点を置きましたが全体的に主要な処理事項について御報告を申し上げ一層の御協力を願ひたいと存じます。昭和三十三年に処理された事項

- シブ購入 宅地一、二八八、千円
- 公営住宅新設事業 佐呂間市街に十六戸建設事業費六、九四二、千円
- 新木小学校改築事業 改修 坪新設 坪事業費一、六二八、千円
- 知来中学校屋体新設事業 八〇坪事業費二、五七四、千円
- 花月橋新設事業 昭和三十一年度事業費五、八四一、千円昭和三十一年度事業費一七、〇三九、千円を以て完成総事業費八、四〇二、〇〇〇円
- 農漁村振興施設事業 内訳 町牧野新設費二、八九五、千円・農協自給費九、五〇〇、千円・農協共同施設費九三、一、千円・農協共同育雛所施設費九三、〇〇〇、千円・農協共同貯蔵施設費一、三六四、千円・漁協天然水貯蔵施設費（含充電施設）一、二八二、千円
- 病院施設事業

二、昭和三十三年に処理が繰越された主要事項
①佐呂間川改修工事 昨年の被害発生以来町内当面の最大懸案事項として接してきていました。現況は建設省を通過して予算確保について大蔵省に要請中であり、事業の構想は、
イ、若佐屋敷より若佐市街裏まで関連工事（護岸、築堤）で総事業費約六百万円
ロ、若佐診療所より榮五十一號間五、〇〇〇米助成工事（護岸、築堤）で総事業費約五百万円
②佐呂間市街裏佐呂間川改修事業
イ、佐呂間市街裏より東区堀氏裏まで護岸、築堤総事業費約五千万円
③佐呂間湖岸二級国道改修事業
浜佐呂間地区は昨年総工事費二千余万円をもつて完成し本年幌岩小学校より海岸に至り浪速福士宅までに至る新設と浪速大沢の埋立を実現致したい
④富武士中学校屋体新設 昨年度補助額不足のため完成不可能であり本年度早期に完成致したい
⑤佐呂間、北見間産業道路の改良
昨年度約二〇〇万円を以つて航空調査をせるも本年度実地測量をなし速に着手方強く要望する

費 目 別 事 業 計 画

(単位千円)

費目	事 業 名	事 業 内 容	事業の 所 属	事業 年 度	事 業 費	財 源				
						国 庫 補助金	道 補 助 金	起 債	分担金 其 他	一般財源
役 場 費	シ ー プ 購 入 費	ウィリスシープ1台	佐呂間	32	1,300	650		500		150
	書 庫 新 設 工 事	ブロックタン葺 平屋 10坪	"	33	250					
	若 佐 支 所 新 築 工 事	木造タン葺 平屋 37.5坪	若 佐	33	1,200	300		1,000		150
	小 計				1,450	300		1,000		150
	合 計				2,750	950		1,500		300
警 察 消 防 費	消 防 自 動 車 購 入	いすゞ普通車	佐呂間	31	2,100	400		1,000		700
	可搬式消防ポンプ購入	2 台	若 佐	32	600	80				520
	防 火 水 ぞう 新 設 工 事	40立方メートル 鉄筋コンクリート	佐呂間	32	400	100				300
	小 計				1,000	180				820
	消 防 本 部 新 築 工 事	モルタル塗トタン 葺 2階70坪	佐呂間	33	2,800			2,000		800
	消 防 自 動 車 購 入	いすゞ普通車	若 佐	33	2,200	500		1,000	200	500
	防 火 水 ぞう 新 設 工 事	若 佐 小 学 校 用 40立方メートル 鉄筋コンクリート	若 佐	33	400	100				300
	小 計				5,400	600		3,000	200	1,600
	防 火 水 ぞう 新 設 工 事	若 佐 中 学 校 用 40立方メートル 鉄筋コンクリート	"	34	400	100				300
	防 火 水 ぞう 新 設 工 事	若 里 小 中 学 校 40立方メートル 鉄筋コンクリート	佐呂間	35	400	100				300
	防 火 水 ぞう () 新 設 工 事	富 武 士 小 中 学 校 40立方メートル 鉄筋コンクリート	"	36	400	100				300
	合 計				9,700	1,480		4,000	200	4,020
土 木 費	花 月 橋 架 換 工 事	永 久 橋	若 佐	31	5,841	4,381				1,460
	救 農 土 木 事 業	道路の改修 砂利敷側溝	佐呂間 若 佐	31	5,074			4,900		174
	小 計				10,915	4,381		4,900		1,634
	藤 見 橋 架 換 工 事	橋脚コンクリート	若 佐	32	3,266	2,612				654
	ダ ンプ 車 購 入	いすゞ普通車	"	32	1,700	850		500		350
	花 月 橋 架 換 工 事	永 久 橋	"	32	17,039	12,750		3,000		1,289
	妙 見 橋 架 換 工 事	木 橋	佐呂間	32	675	540				135
	小 計				22,680	16,752		3,500		2,428
	仁 倉 12 號 道 路 新 設 工 事	長1,700米 巾5米	佐呂間	33	1,200	900				300
	菊 地 橋 新 設 改 良 費	長4米 巾4米 コンクリート 橋	"	33	560					560
	阪 の 沢 竹 内 沢 間 道 路 新 設	長1,300米 巾5米	若 佐	33	900	670				230
	小 計				2,660	1,570				1,090
	ダ ンプ 車 購 入	いすゞ普通車	佐呂間	34	1,700				700	1,000
	ブルドーザー購入費	三 菱 10 屯 車	若 佐	34	4,000			1,000	1,000	2,000
	小 計				5,700			1,000	1,700	3,000
	仁 倉 8 號 橋 架 換 工 事	長28米巾5米永久橋	佐呂間	35	9,000	6,750		1,000		1,250
	富 武 士 ト カ ロ 間 道 路 局 部 改 良 工 事	延長3,200米巾4米	"	35	1,500	1,125				375
	若 佐 バ ロ ー 間 道 路 局 部 改 良 工 事	延長4,000米巾4米	若 佐	35	2,500	1,875				625
	紅 葉 橋 かけ 換 工 事	長35米巾3米永久橋	佐呂間	35	12,250	9,187		1,500		1,563
	小 計				25,250	18,937		2,500		3,813
	栃 木 橋 新 設 改 良 工 事	長56米巾5米永久橋	若 佐	36	16,800	12,600		2,100		2,100
	栄 栃 木 間 道 路 改 良 工 事	長8,000米巾3.6米	"	36	4,000	3,000				1,000
	若 佐 市 街 側 溝 工 事	延長1,000米 簡易側溝	"	36	4,000		1,600	1,000	960	440
	知 来 14 号 橋 かけ 換 工 事	長28米巾5米永久橋	佐呂間	36	9,000	6,750		1,000		1,250
	小 計				33,800	22,350	1,600	4,100	960	4,790
	合 計				101,005	63,990	1,600	16,000	2,660	16,755

費目	事業名	事業内容	事業の所属	事業年度	事業費	財 源				
						国庫補助金	道補助金	起 價	分担金 其の他	一般財源
教 育 費	佐呂間小学校増築工事	ブロックトタン葺 2階建 120坪	佐呂間	31	4,880	1,489		2,000		1,391
	仁倉若里中学校屋体新築工事	木造トタン葺80坪	"	31	5,250	1,348		3,000		902
	小 計				10,130	2,837		5,000		2,293
	栃木小学校改築工事	木造トタンふき平屋	若 佐	32	1,700			1,200		500
	知来中学校屋体新築工事	木造トタンふき 平屋 80坪	佐呂間	32	2,560	960		1,300		300
	小 計				4,260	960		2,500		800
	浜佐呂間小学校改築工事	ブロックトタンふき 2階 249坪	佐呂間	33	10,458	3,486		4,000		2,972
	富武土小中学校屋体新築工事	木造トタンふき平 屋 80坪	"	33	2,560	960		1,300		300
	小 計				13,018	4,446		5,300		3,272
	佐呂間公民館新築工事	木造モルタル塗ト タンふき2階180坪	"	34	6,300			3,000	1,000	2,300
	佐呂間高校新築工事	木造モルタル塗ト タンふき2階110坪	"	34	3,650			1,800		1,850
	小 計				9,950			4,800	1,000	4,150
	栄公民館新築工事	木造モルタル塗ト タンふき2階80坪	若 佐	35	2,400				400	2,000
	浜佐呂間公民館新築工事	"	佐呂間	35	2,400				400	2,000
費	佐呂間中学校増改築工事	木造 トタンふき 2階 90坪	"	35	2,880	960		1,000		920
	小 計				7,680	960		1,000	800	4,920
	佐呂間小学校改築工事	ブロックトタンふ き 2階建 441坪	佐呂間	36	4,410			2,200		2,210
	幌岩小中学校屋体新築工事	木造トタンふき60坪	"	36	1,920	840				1,080
	スクールバス 購 入	大 型 バ ス	若 佐	36	3,500			2,500	500	500
	小 計				9,830	840		4,700	500	3,790
	合 計				54,868	10,043		23,300	2,300	19,225
社会及び労働施設費	公 営 住 宅 新築事業	1種10戸 2種 6戸	佐呂間	32	6,942	3,830		2,000		1,112
	公 営 住 宅 新築事業	1 種 1 4 戸	"	33	6,720	3,360		1,600		1,760
	公 営 住 宅 新築事業	1 種 1 4 戸	"	34	6,720	3,360		1,600		1,760
	公 営 住 宅 新築事業	1 種 1 4 戸	"	35	6,720	3,360		1,600		1,760
	公 営 住 宅 新築事業	1 種 1 4 戸	"	36	6,720	3,360		1,600		1,760
	合 計				33,822	17,270		8,400		8,152
保険衛生費	簡易上水道新設工事	流下給水装置	佐呂間	33	24,980	5,120		10,700	4,500	4,660
	じんかい焼却炉新設事業	煉 瓦 造	"	33	400					400
	屠場改築工事	木造トタンふき 525坪	"	33	1,365			1,000		365
	小 計				26,745	5,120		11,700	4,500	5,425
産 業 経 済 費	牧野造成改良事業	障碍物除去 牧道牧柵起工	佐呂間 若 佐	32	1,512	835			1,653	407
	貸付牛購入	乳牛 10頭	若 佐	32	1,383					500
	小 計				500					907
	牧野改良事業		佐呂間	33	297				1,653	427
	貸付牛購入	乳牛 15頭	若 佐	33	130					750
	小 計		佐呂間 若 佐	33	250					1,177
	牧野改良事業		佐呂間	34	297					427
	貸付牛購入費	乳牛 15頭	若 佐	34	130					750
	石灰工場新設事業	木造トタンふき平 屋100坪 機具一式	若 佐	34	5,000			4,500		500
	小 計				6,177			4,500		1,677
	牧野改良事業		佐呂間	35	297					427
	貸付牛購入		若 佐	35	130					750
	小 計		若 佐		500					1,177

費目	事業名	事業内容	事業の所属	事業年度	事業費	財源				
						国庫補助金	道補助金	起債	分担金その他	一般財源
産業経済費	牧野改良事業		佐呂間	36	297					427
	貸付牛購入		佐呂間	36	130					750
	小計		若佐若		250					1,177
	合計				500					1,177
財産費	林相改良事業	452町4反1畝のつる切除伐	若佐若	31	3,733		1,493			2,240
	植林事業	35町5反5畝の新植	若佐若	31	1,391		503			888
	小計		若佐若		5,124		1,996			3,128
	植林事業	26町1反の新植	若佐若	32	914		343			571
	林道新設事業	栃木町有林内2,172米巾員4米	若佐若	32	6,429	2,571	643			3,215
	小計		若佐若		7,343	2,571	986			3,786
	植林事業	若里10町知来5町8反8畝	若佐若	33	545		218			327
	林道新設事業	栃木 2,300米	若佐若	33	6,806	2,722	681	1,500		1,903
	小計		若佐若		7,351	2,722	899	1,500		2,230
	林道新設事業	栃木 2,300米	若佐若	34	6,806	2,722	681	1,500		1,903
	林道新設事業	若里 1,320米	若佐若	36	3,300	660	330	1,000		1,310
	合計				29,924	8,675	4,892	4,000		12,357
總計					271,917	108,363	6,492	73,400	11,313	72,349

備考 一般財源72,349千円に充当する才入については合併による経費節減分を充当するものとし、町民税、固定資産税、自転車荷車税等は現行通りとするものとする

町民の皆さん明けましておめでとうございませう。皆さんとともに輝かしい昭和三十三年の新春を迎えることができたことは、私の衷心から喜びに堪えないところであります。過ぎし昭和三十三年を回顧しますとき内外共に多事多難な年であり、特に本町にあつては一昨年の大正二年以来の大凶作に見舞われ将又昨年の災害と幾多災の道を歩み乍らも新町建設のため町民一丸となり総力を結集し現任に至りましたことを深く感謝申し上げる次第であります。

今後の新町建設に

思想も経済も世紀の曲角に來た感があります。今年には宇宙第二年だと唱える人があります。国の内外は勿論町内外も相

當複雑で多忙なことである

と覚悟せねばならぬと思

います。

又昨年の災害にともなう救

を離れて住民のための奉仕者となることを年頭にあら

り深く痛感するものであり

ます。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。



町議会議長

香川嘉太郎

“年頭の挨拶”

農業等については町理事者の並々ならぬ努力は勿論のこと議会に於ても理事者と一体となり東奔西走努力を致しました結果上級官庁の深い御理解により一応の成果を挙げましたが、尚今後に残された問題についても議会と致しまして最善の努力をする覚悟であります。町民の皆様におかれましては自主的な立場から安全農法の確立に真摯な努力をされる様切望致しますと共に、議会に於てもこの年を躍動再出発の年として皆さんと力を合せともどもにこの重要な目的に向つて邁進することを深く心に誓うものであります。

昭和三十三年の年頭に當り心から町民の皆さんの御多幸をお祈りして、御挨拶と致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

致します。

昭和33年への言葉

網走支庁長 小島政直

多端でありました昭和三十三年を送り、皆さんと共に新たに昭和三十三年の新春を迎え心から喜び申し上げます。

年の始めにあたり本年への希望としては、吾々の一人一人がただ生きるということだけでなく将来にむかつて意義のある生活設計をもち更に社会的になんらかの役割を果たす生涯の理想を身につける年と致したいと思うことであります。

越し來つた昨一年を顧みますとき先ず一昨三十一年に於ける未曾有の農業災害による深刻ないたでの恢復を一年の作況に懸け復興対策に皆さんと共に最善の努力を致して参つたのであります。不幸にして昨年も又天候不順の裡に終始して御承知の結果となり復興はおろかさらにいたでを重ねてすべての処理を本年に持越されこの解決が先ず三十三年の行政上に与えられた最大の課題であります。と共に連年の堆積した農業災害のいたでを克服して

がらが住民並びに関係当事者の熱意と努力により実現し見は解決の方向をたどり管内の後進性は漸次是正されて来ておりますことは寔に喜びに堪えないところであります。

飄つて新しい年昭和三十三年に与えられた課題としては前に述べましたところの当面する連年の農業災害の恒久対策として国の決定すべきことのあまりにも多くしかもその一つ一つがそれぞれ重要な意義をもつものであることから致しこれら達成の目標を本年の私の行政執行の基調として微力ではありますが皆さんの御協力を得て努力を傾け郷土網走管内をしてより明るく、住み易いところと致したく念願致しております。

こゝに紙上を通し昭和三十

比較増 一、九八七千円
一般会計特別会計共に年間需要費の調整と職員期末手当支給率変更に伴う追加が此の度の追加更正の▲体となしていますがその他に
花月橋工事費八九〇千円高等技芸学校開設経費八〇二千円貸付牛購入費五〇〇千円町有林撫育費七二〇千円の追加等多額のぼる事業費もあります。

3、昭和三十二年十二月に支給される職員の期末手当は俸給等の百分の百五を標準として支給されることに決定されました。

4、町有林の処分について二千七百余名を中園牧野

計 二、七〇〇千円
6、北海道における固有の緊急開拓施設等の譲与に關する法律によつて譲与を受けた開拓者の旧園營居小屋を佐呂間若佐の兩

新農山漁村振興特別助成事業

本町は、昭和三十二年度に於いて、新農山漁村振興助成地域として農林省の指定を受け、現在総合建設計画を樹立し、この事業に基き一般助成事業、特別助成事業、融資事業等の一連の振興に必要な事業を実施しているわけでありましたが、こ

9、秋農事業について協議の結果別紙のとおり事業の箇所付をしましたが、これによる現任の町費持出しは二、九〇三千円になります

興計画と
案について

の事業は、現在の本町農水産業を将来如何に発展させるか、という基礎づくりとなるものでありますので、その概要と昭和三十二年度の実施事項をお知らせして、町民各位の本事業に対する御理解と御協力をお願いするものであります。

計 二、七〇〇千円

9、救農事業について協議の結果別紙のとおり事業の箇所付をしました。が、これによる現任の町費持出しは二、九〇三千円になります。

佐呂間町長 船 木 長 一 郎

喪中につき年賀欠礼致します

謹賀新年

昭和三十三年元旦

土	税	財	産	総
主任技師 佐藤 初太郎	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂
建築係長 渡部 正光	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂
土木係長 上城 正光	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂	課長 幸松 良茂

(別表1) 歳入の部

単位千円

款	追加更正 予算額	既定 予算額	比 較		更正 予算額	割合 %
			増	減		
1,町 税	40,991	40,991				29
2,地 方 交 付 税	34,835	32,465	1,870			24
3,公営企業及財産収入	7,822	5,700	2,122			5
4,使用料及び手数料	2,998	2,960	38			2
5,国庫支出金	29,963	30,585		622		21
6,道 支 出 金	5,881	5,556	325			4
7,寄 附 金	5,469	4,524	945			4
8,繰 越 金	957	957				1
9,繰 入 金	500			500		1
10,雑 収 入	3,164	2,814	350			2
11,町 債 償	10,500	11,100		600		7
合 計	142,580	137,652	4,928			

歳出の部

款	追加更正 予算額	既定 予算額	比 較		更正 予算額	割合 %
			増	減		
1,議 会 費	2,564	2,404	160			2
2,役 場 費	24,567	23,246	1,321			17
3,消 防 費	2,976	2,976				2
4,土 木 費	29,472	26,856	2,616			21
5,教 育 費	21,223	22,990		1,767		15
6,社会及び労働施設費	11,447	11,417	30			8
7,保 健 衛 生 費	2,410	2,510		100		2
8,産 業 経 済 費	16,318	15,627	691			11
9,財 産 費	16,164	15,340	824			11
10,統 計 調 査 費	171	171				—
11,選 挙 費	363	398		35		—
12,公 債 費	8,035	7,447	588			6
13,諸 支 出 金 費	6,670	6,070	600			5
14,予 備 費	200	200				—
計	142,580	137,652	4,928			

一、農林漁業振興の重点事業実施の計画
①農業振興
(1)農地の拡張
現存未利用地の耕地化を促進する外国の開拓計画と併行して開拓地の開墾二〇町歩を実施する
(2)土地条件の整備
農用地の低位生産性にある土地の基礎条件の向上を図るため
②暗渠排水工事十五地区
一、八六二町歩
③馬そり客土一七〇町歩

④酸性土壌の矯正八七〇町歩
⑤心土耕事業二、〇〇〇町歩
を實施し生産の向上を図る
(3)耕種改善事業
優良種子普及のため
水稻、馬鈴薯、薄荷、麦類、大豆等について採種圃七六町を全町について設置を計画推進する
(4)畜産振興
有畜農業経営の転換による飼料の自給は

未利用地の改良を行い、草資源を確保することが緊要であるので五一〇町歩の集約牧野及び普通牧野の造成を図る
又、産業振興の根本対策である大家畜、中小家畜の導入については、農林漁業資金の利用による外、中小家畜については導入費に対する利子補給を町費で実施する、更に有畜農家の畜舎施設、自給飼料

施設等の設置についても町費補助に依る積極的な設置を奨励する外これら生産物の消流対策として集荷所、共同貯蔵所等の設備の充実を図るものとする
②林業振興
疎悪林の林相改良に重点をおき、伐採跡地及び無立木地の造林と併せ八四〇町歩を実施する外、天然林の下種整備事業に六〇〇町歩の実行の

促進、耕地防風りんの造成、水源涵養りの造成等を実施する
③水産振興
浅海増殖事業の振興及び沿岸漁業の振興に対する消流対策として販賣適正化のため貯水施設、冷蔵施設、共同荷捌所等を設置する外、共同給油施設を設け漁家の生産向上を図る
④生活改善
農林漁家の生活環境を整備するため、無電灯

林 務 課

若 佐 支 所

浜 佐 呂 間 出 張 所

主 任 川 崎 謹

佐 呂 間 議 会

議 長 香 川 嘉 太 郎

副 議 長 山 元 邦 二

議 員 山 添 田 武 田 豊 武 良 郎

伊 藤 太 善 丑 治 郎

石 岡 村 善 丑 治 郎

林 貞 義 要 盛 造 夫 治 郎

太 田 知 義 要 盛 造 夫 治 郎

大 山 内 弥 太 正 一 郎

大 中 山 村 真 太 正 一 郎

大 杉 沢 谷 太 正 一 郎

大 曾 我 藤 大 正 一 郎

林 務 係 長 佐 々 木 賢 次 郎

造 林 係 長 小 川 稔

支 所 長 佐 藤 富 男

産 業 係 長 玉 井 清 則

戸 籍 係 長 野 島 倫

主 任 川 崎 謹

畜 産 係 長 木 下 元 二

統 計 係 長 木 下 元 二

議 員 山 添 田 武 田 豊 武 良 郎

伊 藤 太 善 丑 治 郎

石 岡 村 善 丑 治 郎

林 貞 義 要 盛 造 夫 治 郎

太 田 知 義 要 盛 造 夫 治 郎

大 山 内 弥 太 正 一 郎

大 中 山 村 真 太 正 一 郎

大 杉 沢 谷 太 正 一 郎

大 曾 我 藤 大 正 一 郎

大 曾 我 藤 大 正 一 郎

大 曾 我 藤 大 正 一 郎

出来るだけ補正するように致しますので御了承下さい。
註

(1) 被害農家の就労対象は五分作未満農家とする

(2) 被害が三分作未満の農家は一戸当り二千四百円、五分作以下三分作以上の農家は一戸当り一万六千円の労賃額とする。

被害農家の就労対象は五分作未満農家とする。

被害が三分作未満の農家は一戸当二万二千四百円、五分作以下三分作以上の農家は一戸当一万六千円の労賃額とする。

書	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
記							
相	峯	門	久	湯	笹	福	西
							田
	崎	崎	米	本	松	田	中
沢			田				
	辰	友	鶴	英	保	幸	喜
							喜
武	藏	一	夫	夫	吉	教	作
							重

教育長	山	愛	光
社会 教育係長	佐	藤	雄
総務学 校教育係長	矢	口	市
		豊	

委員	委員	委員	委員
長	長	長	長
福	福	福	福
島	島	島	島
十	十	十	十
宜	宜	宜	宜
知	知	知	知
幸	幸	幸	幸
磐	磐	磐	磐

委員 杉谷 保
河野 勝 高

委員
渡土眞
部門如
義錦伸
三仙光

融資事業計画

受主	事業名 (事業又は施設名)	地区名	事業主	事業量	事業費	摘要
佐呂間農協	共同処理加工施設	知来	佐呂間農協	薄荷蒸留機 田中蒸留機	690	
佐呂間農協	共同加工施設	佐呂間	"	薄荷蒸留機 田中蒸留機	460	
佐呂間農協	共同管理増殖施設	佐呂間	佐呂間農協	家畜人工授精所 1棟 31,25坪 人工授精機 1台 式器基 人授精器具 1台 庫 冷蔵	230	
佐呂間農協	家畜人工授精施設	佐呂間	佐呂間農協	家畜人工授精所 1棟 31,25坪 人工授精機 1台 式器基 人授精器具 1台 庫 冷蔵	1,200	木造モルタル
小計					1,890	
合計					4,785	

生活に困つて居られる不幸 二月一日より十五日までの
な方々に少しでも温い手を 間町内各団体の後援を得て
さしのべ「みんなで明るい 実施致しました処一般の御
お正月を迎えるため」の歳 同情をいただき予想以上の
末たすけあい運動は去る十 成果を収めることができま

歳末たすけあい運動を実施

子トセ、共立 渡辺まさ
孝子 計四名 山下幸子 若佐、吉沢笑子 川西
計二名

第一次救農土木事業

所管庁名	事業名	労賃額 千円
営林局	ち道改良	1,330
道費	土地改良	1,352
	道々改良	540
	道河川改良	1,356
	失対事業	1,421
	開拓農道	100
町費	災害復旧	580
	道路工事	200
	林相改良	900
	林道改良	900
合計		8,065

義捐金品據出者名簿

拠出者	衣料品	金員	食料品	その他
幌岩自治会	点	1,760		
若佐市街旭町外 寺本ツマ	セーラ服他 12			
中國婦人会	オーバ 他 12	943		
栄婦人会		2,510		
中國直井抵		1,000		
啓生自治会		2,000		
栃本婦人会	オーバ 他 189	350	麦 5升	
武士自治会	" 78	650	米2斗5升 麦2斗	
幌岩婦人会		300		
下佐呂間郵便局 員一		1,000		
浜佐呂間農協婦人		500		
浜佐呂間自治会	婦人服 他 73	1,500		
浜佐呂間婦人会	ジャンパー他47	4,530		
佐呂間婦人会	大人上衣他 243			
富武士青年団		300		
富丘自治会	オーバ 他 76			
知来自治会	子供上衣 他 83		粉 7升	学用品 17点
西富自治会	大人上衣 他 39	1,800		
仁倉婦人会		715		
北農協婦人部	子供上衣 他 30	455		
富武士婦人会		500		
"自治会		1,000		
朝日自治会		2,000		
"婦人会		1,000		
佐呂間地区労協		10,740		
役場職員一同		26,100		
佐呂間国保病院 職員一		7,830		
若佐婦人会	オーバ 他 90	100		
佐呂間青年団		1,000		
計		1,060	米2斗5升 麦2斗5升 粉 7升	学用品 17点

したここに厚くお礼申上げ
ます、寄せられた義捐金品
は次のとおりでありまして
二十七日二十八日の兩日に
わたり自治会長民生委員さ
んの協力のもとに一五〇世
申上げます。

社会福祉協議会に篤志寄
附新生活運動が一般の関心
を深めて参りましたが次の
方々よりそれぞれの慶弔を
廃し地域社会福祉の資金に
活用するようにと金一封の
篤志寄附がありました厚く
お礼申上げます
佐藤進 役場員(二男出生)
岸本茂 製綿業(全快)
幸松良茂 役場員(妻全快)
大橋与三 紡績社長(二女
大島満 役場員(長女出生)

ねずみを駆除しましょう

皆さんの家でゴトゴト音が
たがたとねずみの音がしま
せんか。
日本の国は各家庭に平均
十匹のねずみが住んであ
ると云われるます。
ねずみわ米、麦、イモ等
が大変好きですから、皆さ
んが汗を流して収穫した米

麦等を一年に一石三斗も食
べられてしまい、この金額
は約二万円と云われていま
す。
役場ではこんなに私達に
がいのあるねずみを駆除す
るため去年十二月中旬に各
部落の自治会長さん、衛生
指導員さん方を集めている

このネオメツはもうす
でに皆さんの家へ配布にな
つた事と思ひますのでこの
葉についてお話ししましよ
う。

※このネオメツは黄燐で

話合つた結果「固型ネ
オメツ」と言う毒薬をね
ずみに食べさせてねずみを
全部殺すことになりました

つくられてゐる毒藥です
から、子供が食べない様
に充分注意して下さい、
※このネオメツツわねづみ
の通路にあたる物かけ、
即ち、台所の流しの下、
壁と樽との隙間、ねづみ
の出入する戸棚の中等に
おいて下さい。

※このネオメツツをかける
ときには必ず数を数へ、
ねづみが何個食べたか確
任して下さい。

※ねづみが食べやすい様に
このネオメツツにそば粉
をふりかけるか、砂糖等
をふりかける等いろ／＼
工夫して下さい。

※ねづみが全く食べないと
き、又食べさす必要がな
くなつたときわストープ
の中に入れて完全に焼い
て下さい。

皆さんでいろ／＼工夫し
て私たちの町からねづみ
が一べきもいなくなる様町民
全部で協力致しましょう。

又この固型ネオメツツは
毒藥ですから充分注意して
一人の事故者も出さない様
に皆さんで注意して下さい。

公民館だより

この苦しい冬をどう切抜け今春の営農準備をしたらよいか

リ（二つの考え方）リ

今年こそは!!と期待した甲斐もなく、全く意地の悪い年に暮れた昭和三十三年の年の瀬もどうにか渡り切り、明けて今年は昭和三十三年、一応明けまして誠におめでとうという事でしようが只、いつもの年の様に手放しでこのお正用を過してよいものでしょうか。

まだ正式な発表こそないが今年こそは本当に安定した氣候に恵まれた年になるであらう事は信頼すべき筋よりの情報で期待がもたれるだけに、これから春の端境期六月までにかけての力マドのやりくりには、家族みんなで相談し力を合せて計画通りやりぬく固い決心と、根気が必要な年になりました。せつかくの上作の天候に、営農資金や労力が充てでなかつた為に、上作がとれなかつた……等という事のない様うするためです。何とかなる主義でその日その日は過しても、その祟りが次々と繰越して行つたのでは愈々テリ貧となり、

救農事業計畫書

(單位千円)

部落別	農家戸数	5分作未満戸数	事業費	5分作以下必要労務	配分額	事業名	備考
				3分作以下22,400 5分作以下16,000			
西	62	21	740	342	325	河道改修	良業 サロマ市街裏 75 東区拡幅工事 250 北区町有林 200 東区拡幅工事 190 同上 50 境橋附近築堤 170 14～15護岸 291 14～15〃 100(仁倉水利組合水取 境橋附近築堤280口附近) 時雨橋附近護がん 100 14～15号護岸 100(仁倉水利組合水 局併道改良 390 取口附近) 富丘道路 60 (森林組合造材) 箇所未確定 178 2線2号道路 95 箇所未確定 124 浪速西2線道路 30 浪速西2線道路 30 富武士農道 90 局林道改良 400 富武士農道 10 西1線道路 294
北	65	25	200	412	390	河道改修	良業 同上
東	41	15	1,200	240	220	河道改修	良業 同上
知来	132	41	3,400	681	671	河道改修	良業 同上
仁倉	105	53	1,290	873	590	河道改修	良業 同上
浜佐呂間	50	25	238	400	238	河道改修	良業 同上
幌岩	63	30	249	480	249	河道改修	良業 同上
浪速	29	16	120	262	120	河道改修	良業 同上
富武士	82	36	410	582	410	河道改修	良業 同上
若里	105	32	294	524	294	河道改修	良業 同上
佐呂間	13	9		144	50	河道改修	良業 同上
共立	102	35	398	566	398	河道改修	良業 同上
大成	101	27	882	451	338	河道改修	良業 同上
啓生	39	12	160	192	160	河道改修	良業 同上
栃木	93	51	1,689	822	600	河道改修	良業 同上
中園	66	36	540	582	570	河道改修	良業 同上
川西	61	21	600	336	310	河道改修	良業 同上
武士	57	22	300	364	300	河道改修	良業 同上
朝日	45	16	220	262	220	河道改修	良業 同上
富丘	49	16	220	262	220	河道改修	良業 同上
若佐	20	11	40	182	40	河道改修	良業 同上
計	1380	550	(14,990) 13,190	8,957	(8,065) 6,713		()内は土地改良事業を含む総額

()内は土地改良事業を含む総額

益々借金に追い廻されてい	して見る事が大切ですので	つなぐための経費)	どうしてもお米に頼りたく	ことが大切でしょう。
い考えなど浮びようもなく	計算のし方について一つの	イ 主 食 費	なるでしょうから配給米は	ではその家によつて配給米
経営の改善など及びもつか	考え方を申上げあすから家	端境期までの自家飯米を確	随時計画的に受けておいて	を必要とする量がちがつて
ない事になりましょう。	族みんなで最低これ丈はど	保できた方は一応見る必要	出来るだけ節約し農繁期に	来ましようが、主食の配給
一年の計は元旦にあり、そ	うしても必要だといふもの	はありませんが、そうでな	まわす様貯蔵し、雪がとけ	を受けるのに必要なお金は
こで先ず如何にして端境期	につい計算し、予算をたて	い家では畑から穫れたもの	て農耕の時になつてから、	どの様にして予算を見積つ
までを食はつたぎ、そして	てみましょう。	の代用食を極力勵行したと	食べ物が無い、さあ大変、	ならよいかというところ
営農資金を整へたらよい	1)生活必要資金	しても四月からの春耕期の	とあてない様に今から見	家族一人当たり平均一日配給
がにつつき筋道をたてて計算	(端境期までに家族が食ひ	味をはげしく使う時最には	透しをつけて計算してみる	量 米三六五グラム×八四

本町の選挙有権者は 8,124人です

九月十五日現在で調整されました基本選挙人名簿及び海区漁業調整委員選挙人名簿は十二月二十日確定されました。部溶別の有権者は下表の通りです。

基本選挙人名簿登録人員

部	別	落	男	女	計
第1投票区	佐呂間市街西富東		951	969	1,920
" 2 "	知 米		268	262	530
" 3 "	仁 倉		262	254	516
" 4 "	浜 佐 呂 間		327	346	673
" 5 "	幌 岩		107	104	211
" 6 "	浪 速		62	55	117
" 7 "	富 武 士		251	242	493
" 8 "	武 北		141	137	278
" 9 "	若 里		305	282	587
" 10 "	若佐、中園、川西		463	474	937
" 11 "	武 士 日		138	127	265
" 12 "	朝 丘		72	71	143
" 13 "	富 丘		85	88	173
" 14 "	栃 木		171	166	337
" 15 "	啓 生		74	63	137
" 16 "	米、大 成		226	217	443
" 17 "	共 立		173	191	364
計			4,076	4,048	8,124

道区漁業調整委員選挙人名簿登録人員

部	落	別	男	女	計
第1投票所	浜佐呂間、幌岩		67	68	135
" 2 "	富武土、浪速		65	57	122
" 3 "	若 里		43	38	81

乳代金、鶏卵代金羊毛代金等
三、共済保険金について
今年には特に農家によつて出来具合に差のある年です。ので共済組合を通して個々に保険金額をハッキリつかむ事が大切です。

この様に昨年の営農やこれからの家畜家禽収入、共済保険金等の収入を合計し、昨年の農業支出、生計支出合計を差引いた残りが大赤字、赤字です。この赤字をどの様な方法で埋めて行くかを考え計画を立て、実際に実行して行かなければならぬ。この赤字を埋めるための方法として、常識的に考えられることは、先づ兼業収入をはかること、ならぬという事でしよう。

日(月平均約一四日間六ケ日間) 二約 三キログラム 配給米一キログラムは八十五円だから 配給米の代金総額約二五〇円
ロ副食費(調味料ふくむ) 自家生産の野菜、肉等を出るだけ利用したとしても家族一人当り一日必要量一日平均二十円×百八一日(六ヶ月) 二約三六二〇円 へ其の他

前につけた主食副食の食糧費のほかに学校に行つている子供にかかる教育費、家族が病氣した場合にかかる保健衛生費やその他、燃料費、電気料、新聞購読料、いろいろの掛金など、毎月

きまつてかかるものや税金なども二、八百円は必要で、他間にかかるものを二、二百円とみて家族一人当り五〇〇〇円は端境期までどうしても必要だと考えなくてはならないことになり、五倍の二万、五千円は家族が食へて行くだけの最低生活に考へて置かなければならぬということになるでしよう。

二、今年の端境期までは家畜が食いつなぐ為の経費として家畜も生きものですか、せう自家及野生飼料をどれくらい確保できたかにより必要経費の大体を計算してみよう。三、昨年の営農資料購入代金をでけるだけ無理をしてでもしつて置かため、ど

うしても必要なお金として肥料代金、農薬代金、ワラ工品代金、温床代金、種苗代金、農手返済資金、短中長期貸付金、購買掛売金等、これらは、たまつてしまふと大変です。少しづつで、昨年分としてカタをつ

けておきたいものです。この様にあげて来ますとおそらく、今までの投やり、資金に對する無計画ぶり、も手伝つて大變な額にのぼつて来でしよう。然し驚いてしまつては駄目です。今年の災害は道東、道北の局部的な災害であるだけに、政治的にとりあげられる可能性は薄いわけですから、かつての年の様に政府や関係機関からの救いの手をあまりあてにはできないでしよう。ですから、

一、收穫物販賣代金について 一、現金収入の計算 二、兼業収入をはかること、とて ところが昨年の作況では農業収入は誠にお粗末なものであり、一体何によつて今後の生計をささえて行くかという事が先づ問題になつて来る訳ですが、之には個人的に解決して行かなくてはならぬ一面と、個人の力ではどうにもならない言はば政治の力で解決して行かなければならぬ一面とがあり、その間に農家の方々丈の努力に期待するだけでなく、一口に言つてしまえば来年の種穂類を確保する事は勿論、赤字と借財で苦しんでいる農家の方々や漁民の方々に、現金収入の道を与える為のきゆう農土木事業、失業対策事業等を出来る丈町に誘致して皆さんに働いて貰い、現金の入る様に政治の力で協力して行く事も大切な訳ですが、若し之等の事業が今後運動次第によつては誘致できる様な態勢になつたとすも、事業の性格から言

つて、地元自体が事業費の半分近くは負担しなければならぬものが多いので、お互い苦しいフットコロではあります。税金を無理をしてでも納めて行かなければ、折角の事業も実施できないというところや、土地改良事業や林業関係事業の様に、受益される個人個人が或程度負担しなければならぬ事業もありますので、日常生活は思い切った切り目方をしなければならぬものならない事態になる事が予想される事と、特に之等の事業の誘致によつてこの窮地を切り抜ける事の利益はかつてのきつう農長短期資金などと違つて、ウツカリすると今迄の借金の上に更に借金の上めりをして借金に首が余計にきつてしまつて仕舞う様な危険性はなく、逆に、借金の穴埋めもでき、事業そのものからも色々な利益が町や個人にもたらされるという重大な意義をもつてゐるという事が言はれる訳です。局地的な天候災害などには難かしい面が多いですが、大いに関係方面に働きかける事も重要であると思はれます。

以上お話しして来たところで、本年のこの重要な冷害不作による経済的、精神的打撃を、如何にして克服するか、その克服に対する計

不作年の食生活計画

その具体的なたて方

面と固い決心が大切で、本年こそ誠に農家一戸一戸、漁家一戸一戸、ひいては佐呂間町将来の盛衰を左右する様な重大な転機にある事がわかる訳であります。ただ徒らに、ずる／＼べつたりの出たとこ勝負でなく、如何なる農家や漁家も、又この農家漁家を中心に生計を営んでいる一般町民も、自己の経営や生計内容を、具体的に数字につかんで、昨年までの打つ／＼災害による赤字がまる／＼今春からの経営に祟つてゆかない様に、大いに自重して計画を立て、行かねばならない事を痛感致します。寧ろ、斯うした最悪の年を契機として心気一転、経営の内容をよく具体的につかみとり、計画的経営に家族みんなが力を併せてどし／＼一年、一年経営の改善に果命になるならば、この災ひが転じて、反つて将来の農家及漁家経済の安定性を増す為の福となる事を信じてやみません。

どんなに不作、凶作でも食糧が不足しても、駄を養うために欠く事の出来ない栄養だけは、健康を維持するため、明日の生産力のため確保しなければなりません。

そこで、不作の年を乗り切るための食生活の工夫として、考えなければならぬ点を考えてみますと、まず昨年の不作によつて私達の食生活のどこにどんなふうの影響して来るかという事でしよう。

昨年の不作によつて大きく欠けるところは大体に於て、私達が主食と称している米

来年の作物の収穫までをつなぐために

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
作								
付								
け								
主	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある
食	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは	手もちが幾らかは
野	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切	魚の安い時に買入れて切
菜								

善により栄養を落さぬ様心がけ、今春の営農や漁りに差つかえない様に努力して行きたいものです、それには先づ

我が家の食物の見通しをつけてみましょう。

雪がとけて農耕の時になつてから、食糧が不足しない様、今までは私共のうちに多くの人達は主食として米にまざるものが無いと考えていますので米食偏重におこり、今年の様な条件になりますと大あわてをしてしまいます、然し栄養の上から言つてお米に変われるものとして麦類をはじめ澱粉小麦粉、そば粉、うどん、パン、馬鈴薯、南瓜、雑穀、砂糖、水アメなど沢山あげられますので、農家や漁家の立地条件、手持の食糧に照し合せて食生活の改

主食の工夫

パンの作り方、食べ方とパンにつく副食物の作り方

一食分の栄養の全部入ったウドンの作り方、たべ方

雑炊の作り方

保存食の作り方

ほり合ひましょう。

手持ち食糧の見通しがいつたなら次の表の様に、どんなお料理をやつてみたらいかが書いて見たり、家族と話し合つたりして、食生活を上手に切り盛りしたいものです。

油をつかった料理

おかずの工夫

やさしい調理

うさぎ肉、細羊肉の料理

おやつのおやつのおやつの作り方と食べ方

道立図書館の青年巡回文庫

この一月より

本町設置に成功

札幌にある本道唯一の道立図書館に於ては、早くから道内各地に於ける道民の図書利用をはかるべく考慮中であつたが、当管内に於ては道立図書館の地方進出事業を当管内各町村教育委員会や、図書館活動を行つてゐる公民館が一筋に文書陳情を行つた結果道内に於て当対象に選定し、主として青年対象の巡回文庫の現物を、約七〇〇冊、価格にして十万円を誘致する事に成功

した更にこの文庫は本年度の利用実績を見て明年度からはさらに毎年二十万円づつぎ込まれるという網走管内にとつては耳よりな話で、初年度は取敢えず管内四方面に町村ブロックを分けてゐるうち、初年度は本町を含む遠軽ブロックの各町村がこの恩恵に浴する事になつた

そこで、この一月早々に遠軽センターを中心に業務を開始され、毎月一〇〇冊余りの青少年巡回文庫が本町に次々入つてくるので、利用、管理、指導の面より、佐呂間高等学校にこの文庫を設置し、高学年の利用をはかることになつた。

食生活の改善をはかるための
冬季料理教室を高校と
若佐公民館に開催

●受講者は十日までに
教育委員会へ●

教育委員会へ●

町教育委員会と高等学校ではこの冬期間の比較的閑期を利用して、町内婦人及女子青年各層の方々に、日常生活の改善のうち非常に重要な位置を占める食生活の改善をはかるために必要な知識及実技を高めるに必要

町民の方々の健康を高める事をねらいに、一月十一日から三月二十九日までの土曜日各二日間つづ高校と若佐公民館で交互に開設する事になったので受講料は一

日五十円で他の経費は教育委員会が負担するので、各部落毎に適当な代表を受講させて、部落で更に伝達講習を開くようにすると有効なもので是非一月十日までに教育委員会に申込んで下さい。

●食生活改ぜんのための冬季料理教室開設要領

一、趣旨
料理に関する実技研修を通して食生活改ぜんに必要な知識と技術を高める

二、主催
佐呂間町教育委員会

三、期日、会場、対象(別表一)

四、受講人員(会場と器具の関係から)

五、受講料(材料代及開設経費の一部として)

六、講師
佐呂間高校家庭科担当教諭「帯広畜産大学酪農科家庭科」

七、参加者の準備
事前に、その都度放送或は公書をもつて連絡致します

八、開設一回目の内容(高校十一日、公民館十八日)

九、〇〇〇九、三〇
簡単な講義
乗費の知識について

九、三〇〇一〇、〇〇

(別表一)

期	日	会場	対象
1月	十一日、二十五日	佐呂間高等学校	佐呂間地区婦人及女子青年
2月	八日、二十二日	食物教室	
3月	八日、二十二日	若佐公民館	若佐地区婦人及女子青年
1月	十八日	炊事室	
2月	一日、十五日		
3月	一日、十五日、二十九日		

当日実習のための作り方その他の説明(プリントを必ず配布します)

一〇、〇〇より実習開始
一日三品五品の予定

内容
主食向け料理：一、二品
副食：食：二品位
野菜、卵等を主として利用

間食および一、二品のみのもの

九、受講申込について
受講希望者は人員に制限がありますのでなるべく早目に(別表二)の様式に従って教育委員会に申込書を提出して下さい

メ切一、一月十日
ある程度系統的に教えますのでなるべく三月まで通して御出席願いたいですが一応第一回目の参加者名を報告して置いて爾後交代で受講者を出して頂いても差支えありません。

唯でも手軽に無料で利用できる公民館巡回文庫が一月一日から出ます

公民館では合併後初の試みとして昨年も一月から三月までの間、各学校に公民館巡回文庫のステーションを設置、部落の方々が手軽に公民館の本を或一定期間家に持帰つて、ユックリ楽しむ、又勉強できる様にして参りましたが、今年は一

月十日から四月末日まで、一ヶ月毎に内容をかえて次の様に四十冊から六十冊の本をトラックにつめて各学校に廻しますから、大いに御利用の上、この冬を有意義に過すようにして下さい

どこの学校に行つたトラックには一休どの様な本が入っているかが一目してわかる巡回文庫目録を活版刷りの上、一月十日までに各戸に配布する予定です

(別表二)

冬季料理教室受講申込書
私は冬季料理教室を受講したいと思ひますのでよろしくお取計ひをお願いします。

記

受講者氏名 昭和三十三年 月 日

申込者 氏名

佐呂間町教育委員会殿

印

ら御期待の上、かく最寄の学校に御連絡下さい

設置場所	責任者(校長)	貸出管理担当者(先生)	貸出日及貸出受付期間
佐呂間高等学校	甲斐 富士夫	玉井 良光	貸出日毎日 午前八時～午後九時迄
知来小中学校	下谷 与三	青沼 忍	貸出日毎日 午前八時～午後三時迄
仁倉小中学校	鹿内 庸	三浦 喜一	貸出日毎日(除日曜) 午前八時半～午後四時半迄
浜佐呂間小中学校	熊田 良雄	宮林 土井 大沢	貸出日毎週土曜日 午後一時～午後五時迄
幌岩小中学校	渋谷 善二	今井 政喜	貸出日毎週火、木、土 午後一時～午後四時迄
富武士小中学校	佐々木 主計	渡部 誠	貸出日毎週土曜日 午前九時～午後三時迄
若里小中学校	佐々木 謙二郎	鈴木 訓夫	貸出日毎週毎日 午前九時～午後四時迄
若佐小学校	野村 秀明	川又、水島、高橋、柴原	貸出日毎週日曜 午前十時～午後三時迄
栄小学校	高瀬 隆資	反田 富男	貸出日毎日 午前九時～午後五時迄
町役場	山口 愛光	教育委員会職員	貸出日毎週火、木 午前十時～午後三時迄
役場若佐支所	佐藤 富男	支所職員	貸出日毎週木、金 午前十時～午後三時迄

あなたは卒業後のお子

さんをとの方向に進ま

せたいと考えていますか

螢の光、窓の雪……愈々を得て調べあげた次の調査
又卒業生が永い学校生活をもとに色々考えてみま
しに別れを告げて浪風の荒い
よう。

以下に様々数字がつか
めましたが、こゝで考えて
みなければならぬことは
卒後のお子さんを、ど
町外に、遅かれ早かれ出
て行つて佐呂間町の人でな
くお考えですか。

夫々、お子さん方の希望を
基礎に学校の先生方の御意
見も聞いて、真剣にお考え
の事と思ひますが、一体私
共の町では新中卒業生が夫
々卒業後どの様な方向に社
会人又は産業人として進ん
で行つてゐるでしょうか。
先づ公民館が学校側の協力

佐呂間町過去五年間に於ける新中卒業生の動向

(昭和二六、二七、二八、二九、三〇、現在)

動向の類型	男子(カッコン内数) 対女子(カッコン内数) 対夫々總数に 対する比率(%)	女子(カッコン内数) 対男子(カッコン内数) 対夫々總数に 対する比率(%)	率(比%)
新中卒業生徒總数	八〇〇八	七九三	一六〇一
町外高校進学者数	一九七	九九	二九六
町内高校進学者数	(二四、四)	(二二、五)	(一八、五)
(大学進学者数)	(一〇、一)	(一、一)	(一、一)
町外就職者数	(一五、三)	(一〇、一)	(一〇、一)
町内就職者数	(八、九)	(六、二)	(七、五)
未就職(含自家農業従事者数)	(四〇、一)	(三三、六)	(五五、四)

が、坊々年ら町の高等学校に
通学し或は青年学級、青年
団4日クラブ、農協青年部
等に所属して、大切な青年
時代を過している訳です。

ところが私の町が今後大
いに発展して行くためには
町の基幹産業である農業や
漁業が大いに科学的な基礎
に立つて、資質豊かな産業
人の手によつて経営され、
技術の進歩と時代の要請の
もとに愈々改善されて行か
ねばならない訳ですが、残
念乍らまだ、技術や経営
改善をどんどん進めて行け
る農業や漁業が足りません
町づくりは人づくりである
と言はれて居る通りに、町

の産業振興計画の中に溶け
込んで、技術的にも精神的
にも完全にこなして行ける
中堅産業人の養成をねらつ
て昭和二十六年十一月か

ての遠軽高等学校分校より
独立し佐呂間高等学校を町
で設置し、夜間定時制の外
に、町の産業振興の裏付け
となるものとして、町民各
位の賢明なる御判断と御協
力によりまして農業科を増
設し産業教育を推進し来つ
たところでありますが、一
人一人立派な社会人、職業
人に仕上げる人間教育の重
要なことは論をまたず、同
時にこの町を愛し郷土にふ
み止まつて、豊かな生産力
と生活文化に恵まれた理想
郷佐呂間町建設に直接四ツ
に取組む若者達の教育、又
ひいては我町の経営に筋金
を入れた得る丈の実力をも
た息子達の教育こそ、私共
が町に住む者みんなの仕合
のため最も真剣に考えな
ければならないところであ
ろうと考えます。

然るに不幸にして佐呂間高
校に於ける設置後の校歴の
浅い事と、出世主義的な教
育に対する父兄の考え方は
真に町に止まる若者の教育
という場には未だ立ってい
ない様に見受けられ、遠大
な理想郷建設の筋金作りと
して設置された佐呂間高校
も志願者が少く、このま
で進捗する時は一学級平均三
〇名という生徒定員を下廻
つて、高校としての存立す
ら危うくなるという現状に
あります。世の父兄、特に

町長以下、教育委員会、学
校相共に詳しく高校教育の
青年教育を考え直して行き
たいと思つて居りますので
を御説明申上げると共に、
父兄はじめ一般町民の方々
をお願い致します。

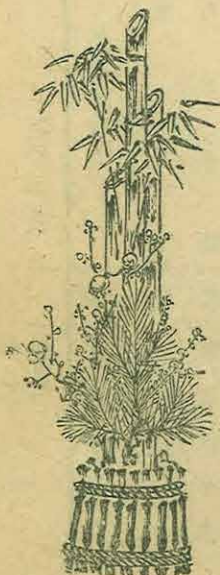
公民館の幻燈機及び

フィルムを部落活動に

無料で貸出す

若佐公民館では現在幻燈
機を二台、生活改善や農事
改良に役立つ幻燈フィルム
と一三三本備へつけて青年
婦人団体をはじめ、部落
学校青年学級等に貸出を行
つてゐるが、女子供にも手
軽に使用できて、夫にフィ
ルムについている台本を読
めば立派に幻燈会を催すこ
とができるので、団体の集
会や、部落の会合、普及員
さんの現地指導などに非常
に喜ばれてゐるが、まだ御
存知でない方も居られる様
ですので再び備付幻燈の日
録を記載して利用の便をは
かりたいと思ひますから、

少く共使用する日の三日前
までに教育委員会或は若佐
支所にお申込下さい、使い
方や、やり方は非常に簡単
ですが、お貸しする時にお
教えします。
集會に変化をつけ、話し合
いのよいきっかけをつくる
ためにも大切な役割を果た
すものでありますから、まためし
に使つて見て下さい。
次頁を御覧下さい



若佐公民館備付幻灯スライド(フィルム)目録

昭和三三、一、一現在

農事改良に關するもの(含生活改ざんに關するもの)

新し い 農業
アメリカの農業
農 機 の 力
2 4 D 物 語
速成堆肥のカンドコロ
麦作りの肥料
稲の施肥設計
増産のカギ加里肥料
石灰窒素の使い方
テント虫の野菜村めぐり
麦の選種と種子消毒
家畜の上手な管理
多産鶏の見分け方
家 畜 の エサ
パラチオン剤の正しい使い方
稲の害虫(その1)
植物生理と肥料
稲の病氣(その1)
い も ち 病
ビニール苗代の正しい作り方
豚の上手な飼育方
よい畜舎の作り方
雪腐病の防ぎ方

しいたけの新しい作り方
石油発動機の分解手入れ
石油発動機の使い方
通風乾草機による新しい乾草の作り方
尿素の葉面散布
植 林
動力脱穀機の使い方
米作り(日本一)
空(肥まく五助さん)
熔成燐肥 物語
尿素のきゝめと使い方
下 肥 の 科 学
インチキ肥料に
水田の畜力除草
サイロとサイレーチ
苗代(寒地の健苗育成)
いねの生いたち
ずい虫の生態とその防ぎ方
とうもろこし増収の鍵
(二代雑種の話)
乳牛の上手な飼育方
(畜産シリーズその2)
鶏の上手な飼育方
(3)

よい乾草の作り方
向上する路農の村
(豊かな村づくり)
乳と密の流れる理想郷
デンマークの農村
稲の病氣(その2)
(天然色病虫害シリーズ)
麦の病 氣
稲の害虫その2うんか
(大川さんの稲作技術)
保温折表苗代の作り方
万沢の混農林業
正しい受胎調節
何をどれだけ
食べたらよいか
牛乳のはたらき
農繁期の栄養
生活改善グループ
伸びゆく会の記録
こどもは少く
ね ず み
赤 ち ゃ ん
住居の工夫
応急手当(外科篇)
安産のために

腰のまがる話
私達の保育所
作業衣の改良
一色部落のくらし
(新生活モデル町村)
子供の予算生活
生活改善の道
結婚改ざんの道
農村衣生活の改善
(フクさん一家の衣生活)
台所の改ざん
新しい村の育児
農家のための家庭工作
はだ着の改良
農村の生活改ざん
共同炊事の村
兄さんの結婚
新しい結婚
農村の栄養
台所改ざんの工夫
村の若妻教育
台所せいの工夫
かまどの工夫
パン食をすすめる村
生活改ざんクラブの歩み
ビタミンA・D
明(妊娠の原理と受胎調節)
気象と産業
アメリカの4Hクラブ
ビタミンの話

家庭科学に關するもの

星 月 と 太陽
月 の 世 界
ぼくの氣象観測
植物の生長
昆虫の生活
害 虫 氣
電 氣 知 識
水 力 電 氣
家庭電氣の取扱
猫の眼・兎の眼
血液の科学
ムシ菌の話
おなかの虫
回 転 染 病 虫
伝 染 病
発 疹
我輩は結核菌
地球と太陽
仕事と栄養
高気圧と低気圧
天気予報
土 共 同 農 村 読 書 運 動
(農協文庫の話)
税 の ゆ く え
公民館を
どのように運営するか
私たちの公民館
遺 伝 の 話
恩讐の彼方に(劇)
山びこ学校(劇)
北海道史1
(大昔の北海道)
北海道史2
(開拓まで)
北海道史3
(開拓の目ばえ)
北海道史4
(進む開拓)

劇ものその他一般文化に關するもの

貸出用幻灯機

ミナシキP型幻灯機(若佐公民館に常備)
バーディ2型幻灯機(役場内教育委員会に常備)

申込は使用日の三日前
役場委員会又は若佐支所に